

2010年5月10日

会告：「時代の潮流をふまえた防災まちづくりのあり方に関する調査・研究」 小委員会委員公募のご案内

研究運営委員会
委員長 糸井川栄一（筑波大学）

地域安全学会では、外部組織からの受託研究業務に対応するため、研究運営委員会の下に受託業務の課題毎の小委員会（受託研究小委員会）を設置し、研究を実施することとしています。この度、（財）都市防災美化協会より標記研究課題を受託する運びとなりました。

このため、研究運営委員会では、受託研究小委員会として、新たに「時代の潮流をふまえた防災まちづくりのあり方に関する調査・研究小委員会」を設置し、この研究業務を担当する小委員会委員を公募することといたします。

研究に参加を希望される会員は、研究調査計画の概要を参照の上、募集要領に従い、奮ってご応募ください。なお、研究の遂行に際し必要となる研究経費に関しては、地域安全学会受託研究取扱規程に従い、負担されます。

■募集要領

- ・ 小委員会名：「時代の潮流をふまえた防災まちづくりのあり方に関する調査・研究」
- ・ 主査：加藤孝明（東京大学生産技術研究所・准教授）
- ・ 幹事：澤田雅浩（長岡造形大学・准教授）
- ・ 活動期間：2010年4月～2011年3月
- ・ 公募委員数：若干名
 - 公募委員の分野
 - ① 時代の潮流を把握、将来推計・想定に関心のある会員
 - ② 地方都市で特色のある防災まちづくりを実践している会員
 - ③ その他
- ・ 任期：承認日～2011年3月
- ・ 応募方法：下記(1)(2)を作成の上、件名を「地域安全学会小委員会委員応募」として E-mail にてご提出ください。
 - (1)氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野
 - (2)委員会で果たせる役割（上記の①～③）の記載と具体的な内容
- ・ 応募締切：5月27日（木）必着
- ・ 採否：委員会で決定の上、本人に通知します。
- ・ 提出先：担当理事 加藤孝明 E-mail：kato-t@iis.u-tokyo.ac.jp
- ・ 研究計画に関する問い合わせ先：担当理事 加藤孝明 E-mail：kato-t@iis.u-tokyo.ac.jp

■（参考）調査・研究計画の概要

1. テーマ

「時代の潮流をふまえた防災まちづくりのあり方に関する調査・研究」

2. 調査・研究の背景と目的

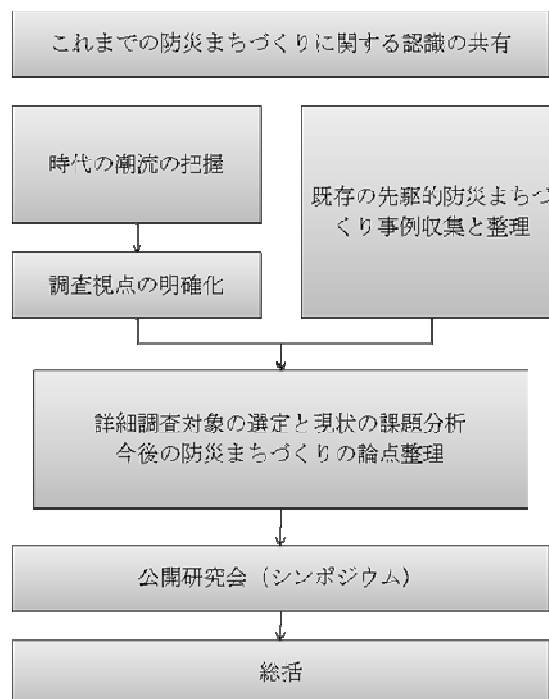
現代の日本のおかれた状況は、いろいろな意味で時代の変わり目にあり、防災まちづくりを取り巻く環境に大きく変化している。現在、世帯減少社会、少子高齢社会への対応、低炭素社会、省資源・エネルギー社会の実現等、次の時代に実現すべきまちづくりの空間像と生活像を描くキーワードが溢れている。

すでに地方においては本格的な世帯減少社会を向かえ、大都市においてもごく近い将来、世帯減少社会を迎えようとしている。これまでの都市の成長を前提とした社会のしくみとの間のギャップが拡大しており、様々なところで歪が目立ち始めている。また、世界で初めてといえる水準の高齢社会を迎え、従来の施設型の福祉政策は限界に近づき、福祉のニーズを地域社会で受け止めざるを得ない状況になっている。一方、地球環境変化への対応からこれまでの価値観に基づいた街のあり方を再考し、次の時代を見据えて抜本的に都市構造を再構築、市街地を再構成することも要請されている。

こうした時代背景をふまえると、これまでの時代を背景とした定型化された防災まちづくりのあり方も再考する必要があると言える。確かに、木造密集市街地では、防災上の課題のみならず、街の空洞化、すなわち、商店街や工業の停滞、高齢化、人口減少等が顕著となり、街の課題として防災の位置づけは相対的に低下している。むしろ街の持続性そのものが課題であり、防災も含めた総合的、かつ、長期的なアプローチが必要となっていると言える。例えば、街の活力を浮揚させるために景観や観光資源や整備といったことと併せた検討が不可欠であろう。このことは事前の防災まちづくりだけではなく復興まちづくりに対しても当てはまることである。従来の防災一辺倒の空間構成、方法論は成り立ちにくく、地域の特性に応じた総合的な発想が必要である。同時に防災の緊急対策としての意味と同時に地域の持続性の観点より長期的視点になったビジョンづくりが必要と考えられる。

本研究では、上記のような時代の潮流をふまえ、防災まちづくりのあり方を物理的及び地域社会の両側面から「再考」し、今後の防災まちづくりのあり方に対して提言を行うことを目的とする。

3. 調査・研究のフロー



3. 研究体制

都市防災美化協会内に「時代の潮流をふまえた防災まちづくりのあり方に関する調査・研究委員会」を設置し、研究を遂行する。なお、地域安全学会に設置される「時代の潮流をふまえた防災まちづくりのあり方に関する調査・研究小委員会」は、都市防災美化協会設置の研究委員会の委員を兼ねる。

	氏名	所属	職位	専門分野	
委員長	加藤孝明	東京大学生産技術研究所	准教授	都市計画・地域安全システム学	
委員	澤田雅浩	長岡造形大学	准教授	都市計画・復興まちづくり	
委員	岩澤一正	都市防災美化協会	事務局長		
公募委員	(数名)				
協力委員	守茂昭	地域安全学会	事務局長	都市計画・都市防災	